

# 雑木林

ぞうきばやし

2021  
4  
vol.361

WE  
LOVE  
とよた



## 闘争の春

足元から小さな生き物たちが動く、  
かさかさという音が聞こえてきます。  
そんな中、激しい音を立てているのは、  
ヒガシニホントカゲのオスたちです。  
繁殖期を迎えた彼らの頭部は  
鮮やかな橙色を帯び、互いの頭をくわえ合って、力比べをしています。  
春は多くの生き物たちにとって恋の季節。  
それは同時に、ライバルと競い合う日々の幕開けでもあります。  
今、恋の争いの火蓋が切って落とされます。



# こんなことしました

開催されたイベントの様子をご紹介します！



2月開催

## 「親子でバードウォッチング」

今年も豊田野鳥友の会を講師に「親子でバードウォッチング」を行いました。参加者に双眼鏡の使い方をレクチャーした後、森へ入りました。森の中では、木を叩いているコゲラ（写真右）に出会い、「かわいい」と歓声があがっていました。また、道中ではフリソデヤナギのふわふわの冬芽に触れたり、ニホンアカガエルの卵塊を観察するなど、野鳥以外の旬の見どころも楽しみました。見つけた野鳥の場所を参加者同士が教え合うシーンも見られ、和気あいあいとした雰囲気観察会となりました。



2月開催

## 「竹切って竹馬作り」

ボランティアグループのとよた自然わくわくクラブを講師に迎え「竹でおもちゃ作り」を開催しました。当日は春本番を思わせる暖かな陽気で場所を室内から屋外に変更して実施しました。今回は「けん玉」と「大根弓」の2種類のおもちゃを作りました。ナタやノコギリは大人が使うご家族が多い中で、一所懸命ノコギリで竹を切る子どもの姿がありとても印象的でした。完成した後は、作ったけん玉や大根弓で遊びました。アンケートでは「子どもが最後にはノコギリの使い方が上手になってうれしかった」「自然物を使い、自分たちで工作できて良い経験になった」など、参加者全員が満足と回答してくれました。

## レンジャーこそこそ話

レンジャーが日々の活動の中で思ったこと感じたことを気軽に掲載するコーナー

### 春はソワソワ



どの季節もそれぞれ魅力がありますが、やはり春は特別に思います。動き始めた生きものを探しかさつという物音に敏感になり、暇さえあればカメラを構え写真フォルダは膨らみます。夜に目を閉じて思うのは森のこと、朝はデスクに座っていてもソワソワ。お尻が少し浮かんでいるような気がします。

文・絵 小池 彩

ばカメラを構え写真フォルダは膨らみます。夜に目を閉じて思うのは森のこと、朝はデスクに座っていてもソワソワ。お尻が少し浮かんでいるような気がします。

## 自然クイズコーナー??

Q ヒガシニホントカゲの子ども(幼カ体)は次のうちどちらでしょう?



答えはこのページの1番下を書いてあるよ!



豊田市自然観察の森  
Toyota City Nature Sanctuary

〒471-0014 愛知県豊田市東山町4-1206-1  
Tel: 0565-88-1310 FAX: 0565-88-1311

【定休日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) 年末年始(12/28~1/4)  
【開館時間】(4月~9月)9:00~17:30 (10月~3月)9:00~16:30



豊田市自然観察の森  
Facebook



東海丘陵湧水湿地群  
Facebook



豊田市自然観察の森  
Instagram



http://toyota-shizen.org/

